

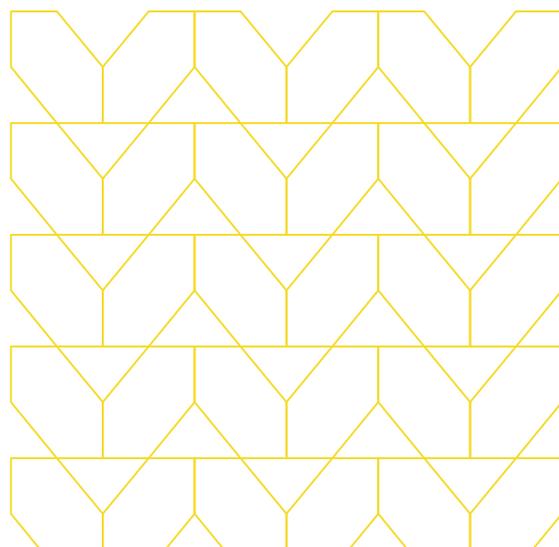


富国生命保険 相互会社

金融・保険業界に求められる
高度なセキュリティ要件を満たしながら
ユーザーの利便性を確保

すてきな未来応援します

フコク生命



Case Study

User Profile

富国生命保険相互会社

所在地： 東京都千代田区内幸町2-2-2

導入時期： 2021年4月

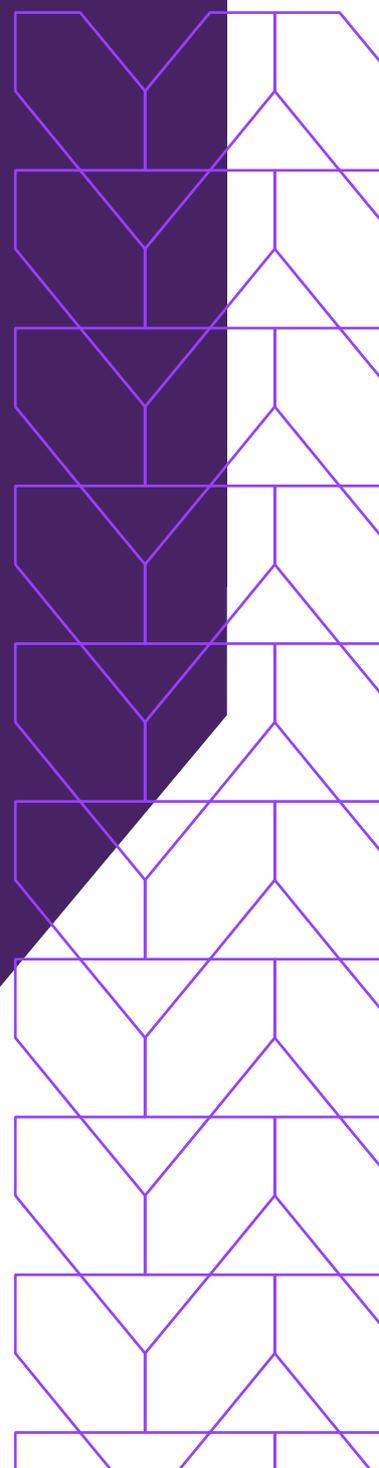
URL： <https://www.fukoku-life.co.jp/>



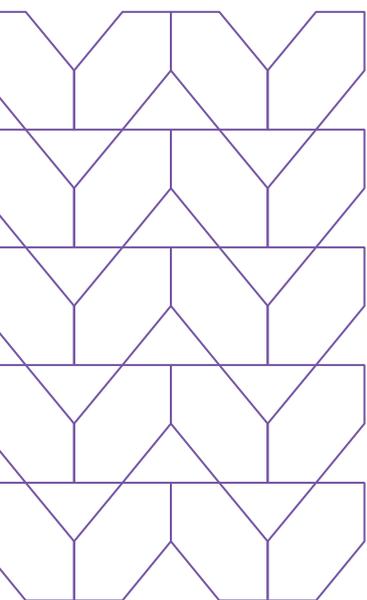
富国生命保険相互会社
事務企画部 部長 小宮 秀泉 氏



フコク情報システム株式会社
ICTインフラサービス部 ICTインフラ第三グループ
課長 清水 悟朗 氏



金融・保険業界では一般的な「物理分離」による利便性の低下が課題



1923年に創業した富国生命保険相互会社様（以下フコク生命様）は、創業以来一貫して相互会社形態をとっている唯一の保険会社です。フコク生命様では2023年に迎える創業100周年に向け、「THE MUTUAL」（ザ・ミューチュアル）というコンセプトを掲げていますが、これは共感・つながり・支えあいをベースとした次の100年に向け進化する次代の“相互扶助”を意味しています。

フコク生命様は「いかなることがあっても保険金等を確実にお支払いすること」が保険会社の最も重要な責務であると考えており、過度な成長では無くお客様を守るための成長を追求しています。また、「配当還元のさらなる充実を通じて、お客さまの実質的な保険料負担の軽減を図ること」が使命であると考え、9年連続で増配を続けています。

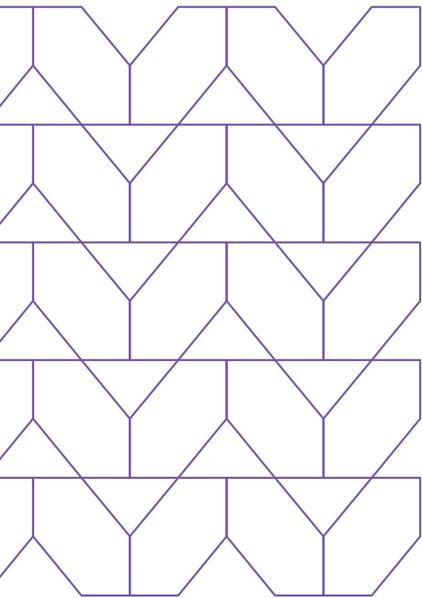
金融・保険業界に課せられた 厳しいセキュリティ要件

フコク生命様では、金融・保険機関に求められる高度なセキュリティ対策を徹底するため、社内システムに接続するPCは外部のインターネットには接続しないという方針を採ってきました。ユーザーが情報収集等でインターネットに接続する必要がある場合は、部署内に数台用意された専用のPCを使う必要があり、これらのPCは社内システムとはまったく別のネットワーク経由で外部に接続されています。いわば社内には独立した2系統のネットワークが存在しているわけですが、こういった構成は「物理分離」と呼ばれ、金融・保険業界では珍しく無いことです。

これはセキュリティ面から見れば非常に強固な対策と言えますが、エンドユーザーは自席のPCからはインターネットに接続できないわけで、インターネットにアクセスするには外部接続用のPCまで都度移動しなければならないため、利便性は犠牲になります。

導入のポイント

- 金融・保険業界の厳しいセキュリティ要件をクリア
- セキュリティを確保しながらユーザーの利便性を大幅に向上
- 導入後のペネトレーションテストで効果を実証



ユーザーの利便性向上を模索

フコク生命 事務企画部 部長の小宮 秀泉 氏は「セキュリティ要件を厳しくすることは、必要だとわかっていましたが、エンドユーザーが自席からインターネットに接続できないのは明らかに不便です。利便性だけでなく設置スペースの問題もあり、何か方法はないのかと常々考えていました。」と、当時を振り返ります。「それに、ネットワークを2系統維持するのは管理も大変ですし、コストもかかります。さらに、ユーザーが自分のデバイスで外部に接続しようとする、いわゆる『シャドーIT』という問題も起こり得ます。」

そのようなときに、メンロ・セキュリティのアイソレーション技術についてのセミナーに参加しました。ユーザーの環境を変えずに確実にリスクを減らすことができるアイソレーションという技術を目の当たりにし、小宮氏は「これならセキュリティを確保しながら利便性を上げることができる。完璧だ。」と考えたと言います。

すぐに検討が始まりましたが、最も苦労したのは社内の説得だったそうです。「これまでに無い技術だったので、理解してもらうまでに時間がかかりました。」と小宮氏。しかし、メンロ・セキュリティのソリューションは大手金融機関への導入事例も多く、既に導入済みの企業からの推薦もあったということで、ついに導入が認められました。

スムーズに進んだ導入作業

導入決定までの苦労に比べ、導入作業そのものはスムーズに進んだということです。フコク情報システム株式会社 ICTインフラサービス部 ICTインフラ第三グループ 課長の清水 悟朗 氏は「クラウドサービスですから、サービス自体の設定などはこちらで行う必要はありませんでした。しかし、導入に際してクライアントPCの設定作業はこちらで行う必要があり、まったく手放しというわけにはいかなかったですね。」と言います。ただ、社内にはクライアント証明書が必要なデバイスなど、メンロ・セキュリティを経由できないものもあるため、それらを切り分けて接続先を設定しなければならぬケースもあったということです。

こうして、内勤の職員やパートおよび関連会社の社員約6,000名がメンロ・セキュリティのソリューションを利用し始めました。清水氏は「導入に際して大きな混乱はありませんでしたし、ユーザーから特に不満を聞くこともありません。」と言います。メンロ・セキュリティの特長のひとつである「ユーザーに気づかれない」という点が効果を現わしているということですが、小宮氏からは「自席から使えるようになったことで、皆、相当便利になったと感じているはずです。」との補足がありました。

導入後のペネトレーションテストで効果を実証

メンロ・セキュリティのソリューションは元々リスクを分離して侵害を阻止するソリューションですが、小宮氏は最初の段階で「このソリューションは、侵入されてしまった場合に外部のC&Cサーバーなどとの接続を遮断することにも役立つのではないか。」と考えていました。その小宮氏の予想の正しさが証明されたのが、導入後に行われたペネトレーションテストです。

第三者によって行われたペネトレーションテストでは、侵入されてしまった場合に外部のサーバーに通信が行われるかどうかテストされましたが、その試みは成功しませんでした。

「メンロ・セキュリティの有効性が第三者によって証明されたわけで、これは嬉しかったですね。上層部にも顔が立ちました。」と小宮氏は笑います。

次のステップはメールアイソレーションとモバイルアイソレーション

こうして、Webサイトへのアクセスは一部のデバイスを除き、ほぼすべてがメンロ・セキュリティを経由することとなりました。そしてフコク生命様が次のステップとして考えているのが、メールアイソレーションです。フコク生命様では現在グループウェア環境をMicrosoft 365に移行する準備を進めており、移行が済み次第、メールアイソレーションの利用を開始する予定です。また営業部門の職員が使っているiPadについては、モバイル・アイソレーションを活用することを検討しています。

未来の変化に柔軟に対応できるソリューション

小宮氏は「コロナの影響で今後働き方が変わり、オフィスのフリーアドレス化なども進むでしょうが、デバイスが動き回るような状況になっても、メンロ・セキュリティなら対応できます。」と、将来の変化にも対応できるメンロ・セキュリティのソリューションに信頼を寄せています。メンロ・セキュリティは、さらなる機能拡張や信頼性の向上により、その期待にお応えして参ります。



お問い合わせ：
www.menlosecurity.jp
japan@menlosecurity.com



Menlo Securityについて

メンロ・セキュリティは、他に類を見ないアイソレーションを活用したクラウドセキュリティプラットフォームにより、企業が脅威を排除し、生産性を完全に維持することを可能にします。メンロ・セキュリティは、悪意のある攻撃を防ぐために最も安全なゼロトラストアプローチを提供し、エンドユーザーはセキュリティの存在を気にせずにオンラインで仕事をする事ができ、さらにセキュリティチームの運用負担を軽減することで、クラウドセキュリティの目標を実現できる唯一のソリューションとなっています。これにより企業は安全なオンライン体験を提供することができ、ユーザーは安心して業務を行いビジネスを進めることができます。